

## 「地域医療 Niigata フォーラム –オール新潟による『次世代医療人』の養成–」を開催しました

平成 26 年 1 月 25 日の午後 4 時 30 分より、新潟シルバーホテル 5 階の昭和の間において、「地域医療 Niigata フォーラム –オール新潟による『次世代医療人』の養成–」を開催いたしました。

当日は、新潟県内の地域医療を担う医療機関の先生方や医学生、医学研究実習にご協力いただいた魚沼市の行政の方など、63名もの方にご参加をいただきました。初めに、新潟大学医学部医学科 4 年の山田明日実さん、鈴木里可子さんに、当センターのプログラムとして実施した、ソーシャルキャピタル測定のためのアンケート調査の成果を、「豪雪中山間地域における高齢者の生活環境と健康に関する聞き取り調査 (1)」「同 (2)」として発表してもらいました。調査した 2 地区の地勢、住民構成、産業構造について、そして健康度、主観的幸福度などについて報告し、考察してもらいました。フロアからも、統計解析の方法、今後の継続した調査への期待など、様々な角度からのご質問、ご意見をいただきました。



つぎに、新潟大学の地域枠の医学生、新潟県出身の自治医科大学の医学生からなるチームじょんのびから、「じょんのびプロジェクト～今後の活動計画～」と題して、地域医療を担う医学生同士の交流を促進するためのレクリエーション、歓送迎会、拠点となる部室を開設し地域との交流を図るなど、地域医療を担う医学生同士・医学生と地域とをつなぐ、今後の活動計画を発表してもらいました。



特別講演では、当センターの鈴木翼先生が、「ソーシャルキャピタルと健康ー良いコミュニティが健康をつくるー」と題して講演しました。「オール新潟による『次世代医療人』の養成」プログラムのコンセプトキーワードのひとつであるソーシャルキャピタルの解説、測定方法、その意義についてお話しし、長野県須坂市のデータをもとにソーシャルキャピタルと住民の健康との関連について説明しました。最後に今回の医学研究実習の成果についても、ソーシャルキャピタルの面から解説しました。

フロアの新潟の地域医療を担っている医療機関の先生方にも、私達のプログラムをはじめとする新潟大学の取り組みをアピールするよい機会となりました。

